

令和5年2月 発地別延べ宿泊者数割合

【国内】		(単位：人泊、%)								
	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和5年2月(速報値)	38,497	66,417	35,897	5,254	14,221	26,917	11,525	54,025	4,776	257,529
令和4年2月(速報値)	25,789	50,834	19,691	3,051	9,264	15,572	7,971	32,236	2,952	167,360
前年同月比	149.3	130.7	182.3	172.2	153.5	172.9	144.6	167.6	161.8	153.9
2019年2月(確報値)	52,852	76,322	46,029	8,301	21,056	30,312	12,384	48,786	4,559	300,601
2019年同月比	72.8	87.0	78.0	63.3	67.5	88.8	93.1	110.7	104.8	85.7
令和5年1月(速報値)	39,215	72,382	36,273	5,447	15,791	23,234	9,741	48,343	4,008	254,434
前月比	98.2	91.8	99.0	96.5	90.1	115.9	118.3	111.8	119.2	101.2
【国外】										
	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計		
令和5年2月(速報値)	37,336	831	3,882	5,445	2,476	886	1,017	51,873		
令和4年2月(速報値)	3	647	5	2	12	564	452	1,685		
前年同月比	1244533.3	128.4	77640.0	272250.0	20633.3	157.1	225.0	3078.5		
2019年2月(確報値)	66,068	10,265	7,407	14,400	809	1,881	1,695	102,525		
2019年同月比	56.5	8.1	52.4	37.8	306.1	47.1	60.0	50.6		
令和5年1月(速報値)	32,195	644	2,868	5,363	2,692	1,634	1,191	46,587		
前月比	116.0	129.0	135.4	101.5	92.0	54.2	85.4	111.3		
【全体】										
	合計									
令和5年2月(速報値)	309,402									
令和4年2月(速報値)	169,045									
前年同月比	183.0									
2019年2月(確報値)	403,126									
2019年同月比	76.8									
令和5年1月(速報値)	301,021									
前月比	102.8									

- ①調査対象施設は従業員数10人以上の全施設(189施設 令和5年1月時点)
- ②2019年の数値については、上記①の施設数をもとに推計しています。
- ③発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典：大分県観光統計調査

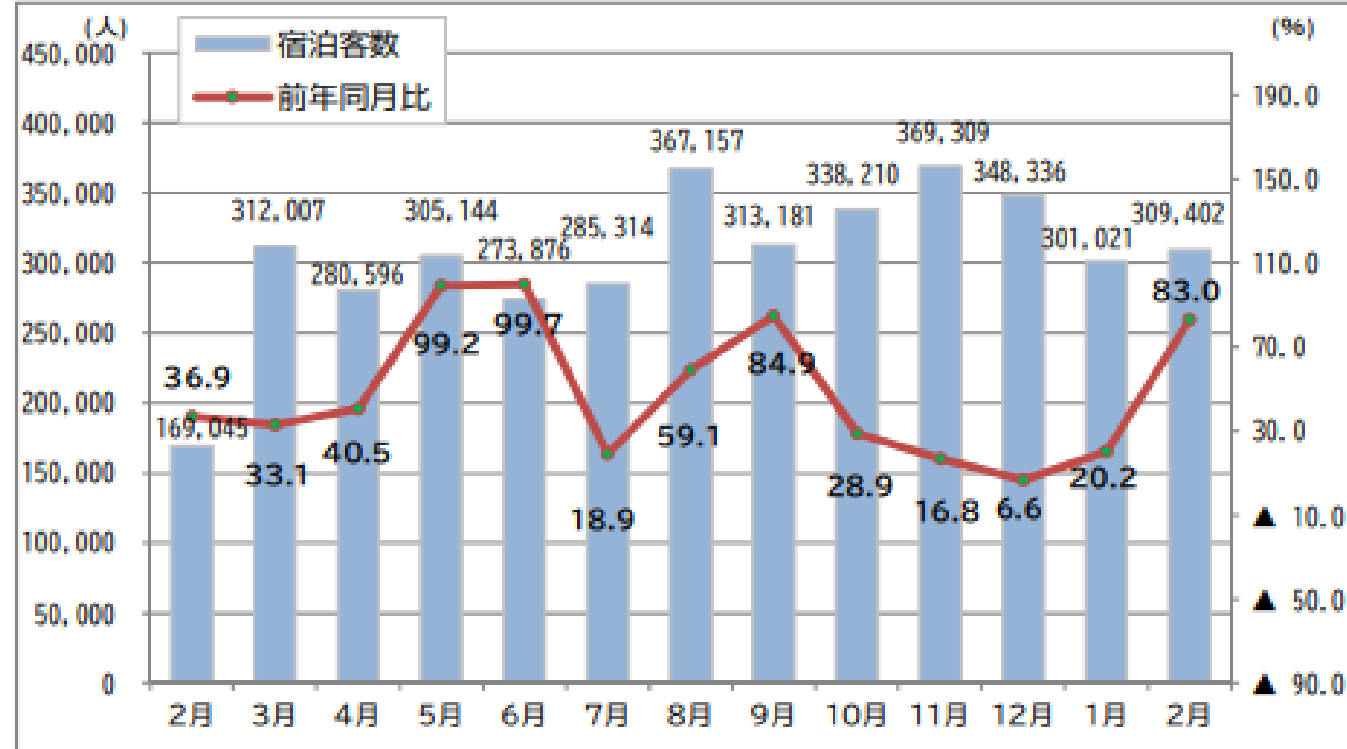
<傾向・分析>

- ・国内の延べ宿泊者数は、前月比101.2%、前年同月比153.9%、コロナ禍前の2019年同月比は85.7%。大分県でもまん延防止等重点措置が発令されていた前年同月比は1.5倍となり、コロナ禍前の2019年同月比も関東方面などの遠方からの宿泊者数は全国旅行支援の影響などから増加しているものの、大分県民や近隣県からの宿泊者数は減少傾向となった。
- ・国外の延べ宿泊者数は、令和4年10月11日より入国者数の上限撤廃など水際対策が大幅に緩和されてからは右肩上がり増加しており、前年同月比3078.5%、前月比も111.3%となっている。特にタイからの宿泊者数はコロナ禍前の2019年と比べても306.1%と大幅に増加しているものの、中国からの入国者には2月も水際措置を講じていることなどから国外からの延べ宿泊者数は2019年同月比は50.6%となっている。
- ・全体の延べ宿泊者数は、前月比102.8%、前年同月比183.0%、コロナ禍前の2019年同月比は76.8%となっている。

令和5年2月の宿泊客等の動向 (令和4年1月～12月速報、令和5年1月速報)

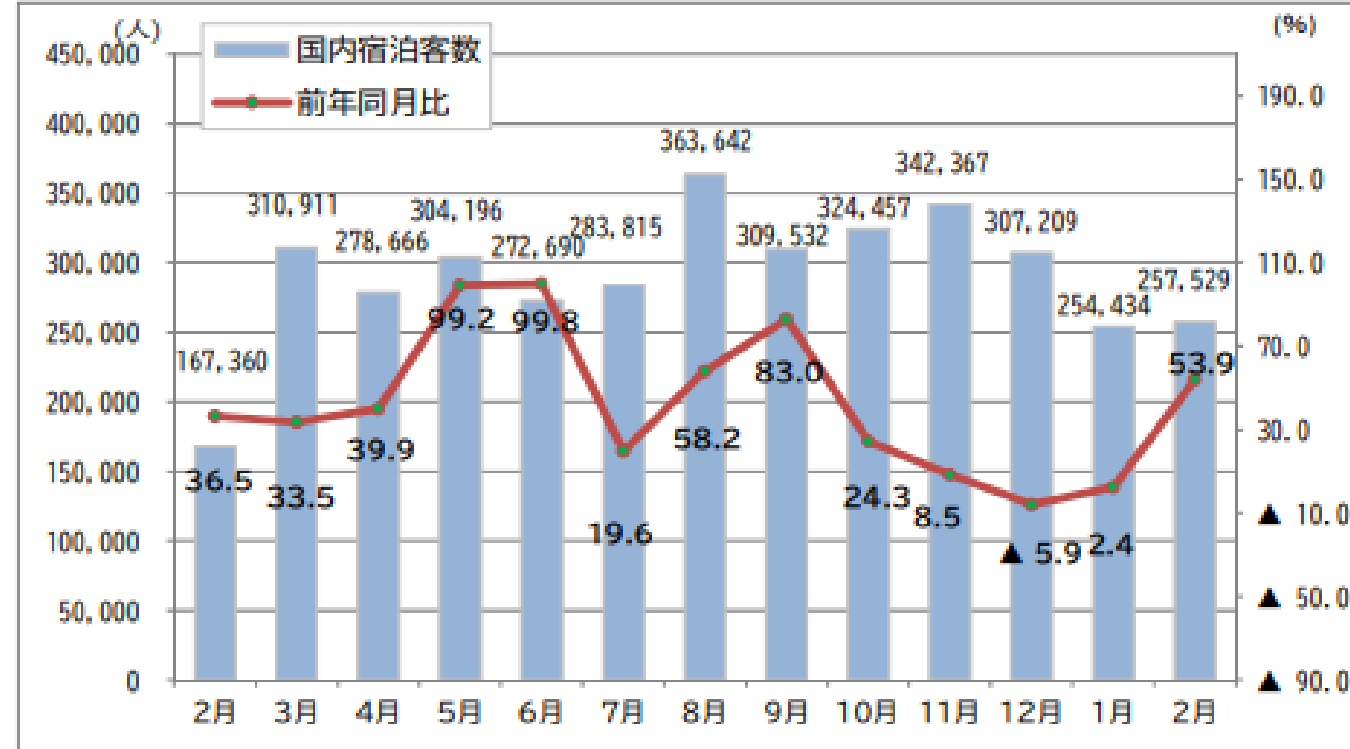
(1) 宿泊客の動向

令和5年2月の宿泊客数の前年同月比は、速報で+83.0%となる見込み。



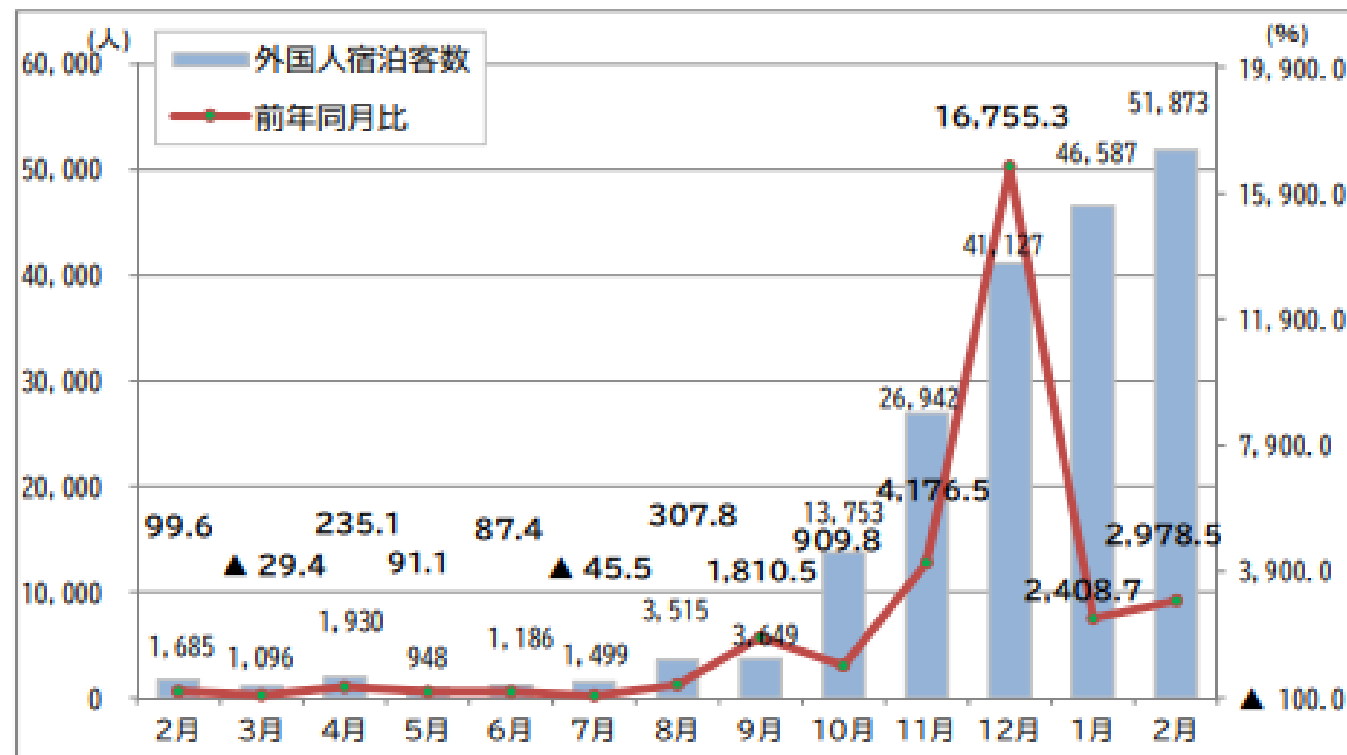
(1)-① 日本人宿泊客の動向

令和5年2月の日本人宿泊客数の前年同月比は、速報で+53.9%となる見込み。



(1)-② 外国人宿泊客の動向

令和5年2月の外国人宿泊客数の前年同月比は、速報で+2978.5%となる見込み。

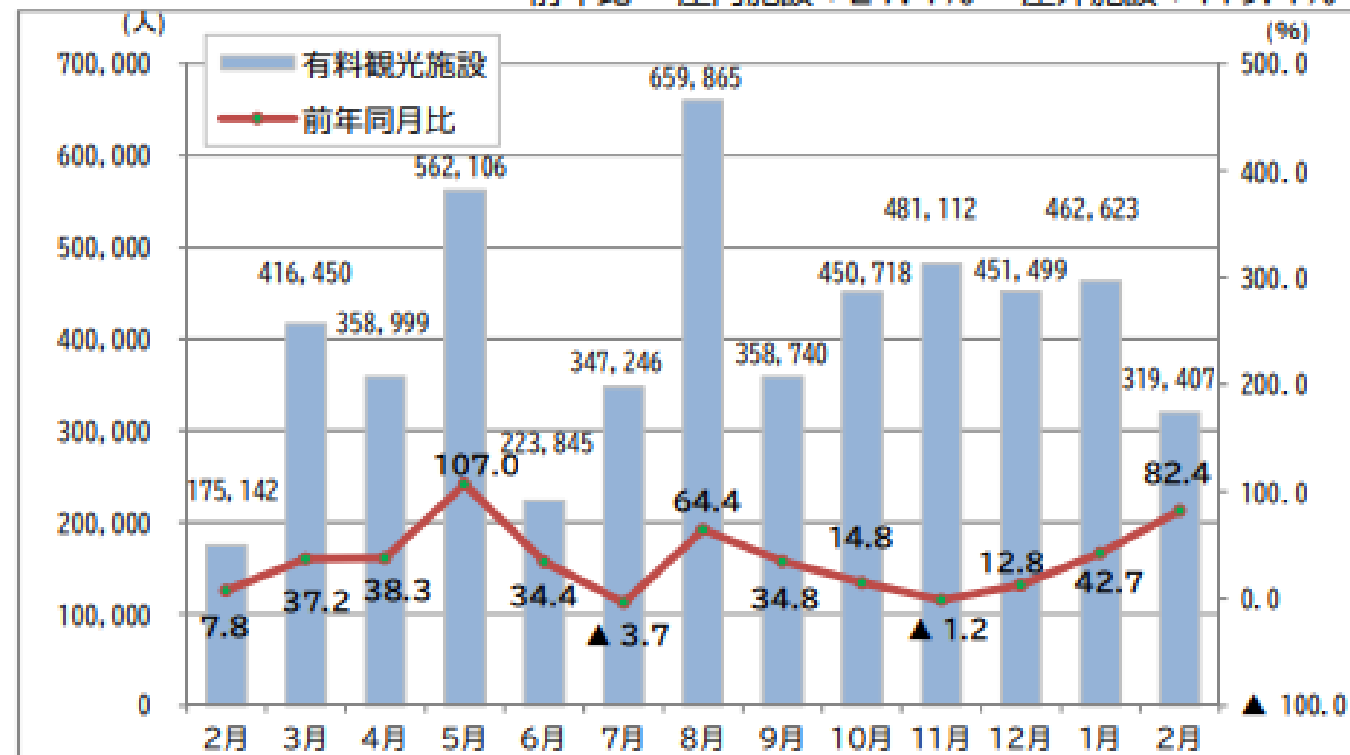


(2) 有料観光施設(入場客)の動向

令和5年2月の有料観光施設(入場客)の前年同月比は、速報で+82.4%となる見込み。

(調査対象施設27施設)

前年比 屋内施設+27.1% 屋外施設+119.1%



※観光施設の対前年比は、休業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表している値と比較すると一致しない場合があります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- ・日本人宿泊客は、昨年1月末～2月末まで大分県でもまん延防止等重点措置が発令されていたことなどから、減少していたが3月に入り全国各地でまん延防止等重点措置が解除されたことなどから宿泊者数は増加し、4月・5月・6月は行動制限がなかったことなどから高水準が続いた。7月・8月は感染者数こそ急増したものの、特に8月は3年ぶりに全国的に行動制限がなかった夏休みシーズンであったことなどから宿泊者数は増加傾向が続き、10月以降は全国を対象とした旅行支援が開始したことなどから高水準が続いている。
- ・外国人宿泊客は、6月10日より観光目的の入国が条件付きで解除された後徐々に戻りが見られ、10月には入国者数上限撤廃など更に水際対策が緩和されたことにより増加傾向が続く。
- ・全体においては、入国制限の緩和や旅行支援の影響などからインバウンドを含め徐々にコロナ禍前の水準に戻つつある。